

松村又一 まつむら またり 詩人、歌人、作詞家。明治二十一年二月二十五日奈良縣生れ、正成二年九月二十日没（一八九一—一九九二）。筆名堤一郎、大杉麥一、大沼萍、大沼萍歌、川端やぶらぎ、松村真多市、檀原八郎等。縣立敬徳中學校中退。農事の傍ら前田夕暮（おんむら）の歌作を、のち詩心轉じ、詩話會所屬。昭和二年上京後、レコード各社の専屬となり歌謡作詞多數發表。

編著書『古今民謡選抄』（編、昭和四年四月十一日泰文館書店）、民謡集『風と鶴』（昭和四年五月二十八日泰文館書店）、同『椿の葉巻』（昭和八年八月一日現代評論社）、『童謡及民謡研究』（合著、百田宮治編、昭和八年五月二十五日大阪・巧人社）、『歌謡詩の作り方—詩人への道』（昭和十七年二月二十五日東邦出版社）、『農上白木詩集』（編、昭和十九年七月二十日慈恵堂文芸堂、彰考書院創刊事務所）、『歌謡夜話』（昭和二十二年七月十日新編音楽出版社）、詩集『流砂』（昭和四十一年十一月二十日大平出版株式会社）等。

